

具体的な検討項目について

平成10年11月13日
核融合開発室

1. 我が国がITER計画を推進する意義についての検証

- (1) 米国の政策変更に関する分析を踏まえて、現行基本計画を見直す必要の有無について検討し、判断する。
- (2) 低コストオプションのガイドラインと現行基本計画の実験炉との技術的整合性に関する分析を踏まえて、現行基本計画の実験炉としてのITER（低コストオプション）の位置付けについて検討し、判断する。

2. 3極でEDAを継続し、完了させることについての検証

- (1) EDAを完了することの意義について再確認する。
- (2) 米国の撤退がEDAに及ぼす技術的影響に関する分析及び3極による具体的な実施計画を検討し、3極で実施した場合にEDAの目的が達成できるか否かについて判断する。

3. ITER実現のための課題

(1) 建設への見直し

コスト分組、協力の法的枠組み、建設・運営主体のあり方等建設の判断のために明らかにすべき事項の抽出・整理

(2) 国際協力プロジェクトとしての事業運営のあり方

全体計画、評価、国際協力に伴うリスク回避等プロジェクトマネジメントにおける課題の抽出・整理

(3) その他

ITERに関連する研究開発